柏崎市立博物館
米山をとりまく自然と文化

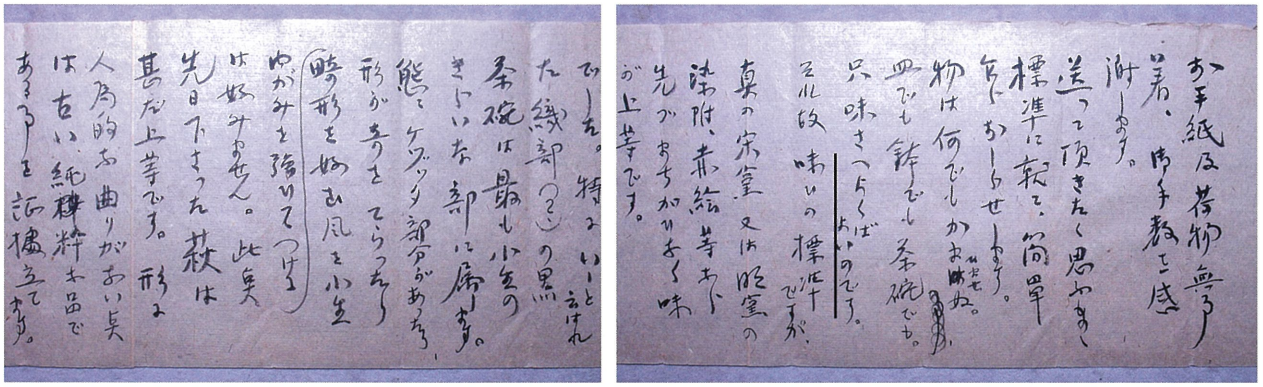
友の会通信

2026.10-12月
No.203

柏崎市立博物館友の会 ◆〒945-0841 新潟県柏崎市緑町8-35 赤坂山公園内 TEL 0257-22-0567

博物館モノがたり

勝田忘庵宛て柳宗悦書簡



大正13年3月1日 封書（写真は同一封書の一部・傍線は筆者）

常設展示室「柏崎の先人たち」では、かつて柏崎ふるさと人物館（平成30（2018）年3月31日閉館、当館に機能移転）で展示顕彰されていた110人を中心に、柏崎刈羽地域にゆかりのある先人を紹介しています。収蔵資料の展示（ウォールケース）とデジタルアーカイブ（タッチパネル）を組み合わせ、先人に関する収蔵資料については年に一度、展示内容を替えて公開しています。

今年度は「勝田忘庵と柳宗悦」をテーマに展示替えをしました。このテーマは、柳宗悦が「民藝」最初の論文である「下手もの美」を柏崎の地方紙「越後タイムス」に発表したのが大正15（1926）年、つまり令和8（2026）年で100年になることによります。柳は民衆の日用雑器に美しさを見出し、大正14（1925）年の年末に「民藝（民衆的工藝の略）」という言葉を新たに作って、その美しさを説き広めました。国内外で手仕事の品々を調査し、数多く収集しています。

今回の展示替えでは、柳宗悦が勝田忘庵に宛てた書簡を主として取り上げました。勝田忘庵（明治9年～昭和37年）は本名を「加一」といい、地元紙や日本石油で文筆関連の事績も多く、文化人として知られた書家です。日本石油を退職後、大正11（1922）年12月初め頃から書画骨董や雑貨等を取り扱う柏崎商会を経営していましたが、今回取り上げた5点の書簡（封書と葉書）は、当館収蔵の書簡7点（すべて寄託）のうち、いずれも柏崎商会に関する内容です。これらの書簡からは、柳と勝田は陶磁器等の物品を入手する間柄だった様子がうかがえます。柳は、朝鮮訪問時に勝田のために買い物をしていたり、勝田から陶磁器を購入したりしていました。特に興味深いのは、勝田から陶磁器を入手するにあたり選んでほしい基準として、柳が「味ひの標準」と表現しながら、人為的な削りや歪みは好まないと伝えていることです（大正13・1924年の書簡）。

この書簡は、「民藝」と認識される以前の、柳の好みが表現されているとともに、木喰仏や吉田正太郎との親交とは異なる、柳宗悦と柏崎との関わりを示す資料と考えています。

（学芸員　池田　孝博）

友の会行事報告

学芸員のオタク講座⑲ 渚のフォークロア —漂着物(よりもの)をめぐる民俗文化—

6月13日(土) 13時～15時　参加者10名

浜に上がる漂着物には単なるゴミや迷惑な漂着物もある一方で、食料や建材への活用や宝物として奉納される場合もあるなど、漂着物の奥深い世界について渡邉学芸員から解説があった。イソマワリという文化、難破船の漂着物に関するルール、錯綜する海藻呼称といった興味深い話が聞けた。

「娥眉山下橋」標木について、江戸時代の文化人たちは中国の娥眉山から6000㎞の旅をしてきたものと思ったが、近年の比較民俗学の検証によれば韓国のチャンスンである可能性が高いという話は感慨深かった。

座学の後、博物館が収蔵する様々な漂着物を直接見る機会が設けられ、参加者は熱心に見入っていた。





学芸員のオタク講座⑳ 博物館のウラ側 —収蔵資料を守る文化財IPM—

7月25日(土) 13時30分～15時　参加者10名





薬剤に頼らず予防重視の持続可能な手法により生物被害から資料を守る「IPM（総合的有害生物管理）」について、池田学芸員から学んだ。効果のある薬剤の製造中止が、文化財分野におけるIPM導入の直接的な転機となった一方、それまで農業や建築の分野で先行していたという背景は興味深かった。自然豊かな環境の中で生物被害を防除する難しさも感じた。

館内に設置された捕虫トラップとくん蒸庫を実際に見学した後、質疑応答の時間が設けられたが、終了後個別に質問する参加者もおり、ニッチなテーマにもかかわらず高い関心を示している様子が窺えた。

学芸員のオタク講座㉑ 星空に映し出された人々の暮らし

8月29日(土) 10時～12時　参加者18名

プラネタリウムを会場とする初めてのオタク講座となり、参加者が多く、非会員の参加もみられた。

前半はスライドに沿って、星座の成り立ち、文学作品や歴史史料に登場する月や星について、また民俗学の観点からの講義があった。後半は実際にプラネタリウムで四季の星空を映し、西洋の星座と日本での呼び名を対比していく熟睡プラ寝たリウム「星の和名めぐり」を鑑賞した。日本での星の呼び名は、星の並んだ形をそのまま身近な道具などに見立てていて理解しやすいものが多く、星座絵が無ければ想像しにくい西洋星座より素朴で親しみやすく感じられた。

ゆったりとリラックスした雰囲気の中で、「古くて新しい」といえるような星空の見上げ方を学ぶことができた。





十三夜のお迎え

10月～12月の友の会行事案内　参加者募集

お申込み方法　行事の申し込みは **9月26日（土）9時から** 受付いたします。

電話で友の会事務局（0257-22-0567）にお申込みください。
その際、参加者全員のお名前、連絡先（できれば携帯番号）、友の会会員か非会員かをお知らせください。

10月　秋の植物観察

紅葉を迎えた夢の森公園の自然を楽しみます



日　時　10月20日（火）9:00～11:00
集　合　柏崎・夢の森公園 駐車場
講　師　岸　勝巳さん（柏崎植物研究グループ）
定　員　12名（先着順）
参加費　会員無料、非会員500円
用　意　水筒、山歩きの服装

11月　【開館40周年記念 一泊見学会】木喰さんの故郷・甲州身延町と青木ヶ原樹海散策の旅

木喰上人の生誕地・身延町の文化財や史跡を町担当職員とめぐり、
富士山麓の自然原生林・青木ヶ原樹海を専門ガイドの案内で散策します。

日　時　11月5日（木）7:00～6日（金）16:30
集　合　博物館下駐車場（大洲コミセン斜め向かい）
見学地　1日目：昼食 道の駅にしじま和紙の里味菜庵（おざら御膳）／身延山久遠寺参詣（本堂・五重塔周辺）／帯金・静仙院薬師堂の木喰仏（薬師如来像・写真）／木喰の里微笑館（十一面観音ほか）／双体道祖神～小林家木喰仏（薬師・馬頭観音２体）／甲斐黄金村・湯之奥金山博物館見学（砂金採り体験も）※町文化財担当職員同行
宿泊：信玄の隠し湯 下部温泉・ホテル守田　TEL 0556-36-0111
2日目：青木ヶ原樹海散策（富岳風穴～東海自然歩道往復60分）ツアーガイド引率／森の駅「風穴」／昼食 手打ちそば奥藤本店国母店（ざるそば+B-1グランプリ3回受賞 名物の鳥もつ煮セット）
定　員　20名（先着順）
参加費　会員44,000円、非会員50,000円（バス代、入館料、宿泊・食事代等含む）


久遠寺


薬師如来像


馬頭観音像


青木ヶ原樹海


砂金採り体験


富岳風穴

10月～12月の友の会行事案内

行事の申し込みは **9月26日(土)9時から** 受付です

11月

学芸員のオタク講座㉒
足もとの生き物探し

落ち葉の裏をじっと観察してみるとトビムシなどのとても小さな生き物たちが見つかります。そのような落ち葉や土に暮らしている小さな生き物たちを探します。

日　　時　11月21日(土)13:00～15:00
会　　場　博物館 小ホール及び赤坂山公園
（天候や土の状態によっては室内のみ）
講　　師　市村瑠美学芸員
定　　員　10名(先着順)
参 加 費　無料
用　　意　汚れてもいい服装、軍手、あればマクロ(カメラ)で撮影できるもの
※虫メガネは博物館で用意します。



カニムシ(体長3～5㎜)の一種

渚の宝もの①
高浜海岸で秋のビーチコーミング

高浜海岸には貝・流木・ビーチグラスなど様々な漂着物が打ちあがります。これらを拾い集め、来年2月のオブジェづくりの素材に活かします。そのプレイベントとしてビーチコーミングを楽しみます。

日　　時　11月28日(土)9:00～11:00
会　　場　旧高浜小学校前 駐車場
講　　師　渚を楽しむ会
定　　員　15名(先着順)
参 加 費　会員 無料、非会員500円
（中学生以下は無料）



12月

もうすぐお正月 八丁紙づくり

正月の飾り紙「八丁紙(袴紙)」を作りませんか。お好みの型紙を選んでいただき、カッターで簡単なものは30分、手の込んだものは1時間くらいで完成します。1回の作業で数枚できますのでプレゼントにもなります

日　　時　12月17日(木)9:00～16:00
12月18日(金)9:00～16:00
会　　場　博物館エントランスホール
定　　員　各15名
参 加 費　100円(一絵柄につき)
用　　意　カッター





編集後記

虫の音が賑やかな季節になりました。梅雨あけ前からの暑さ。雨が降れば豪雨。そしてたび重なる地震。被害にあわれた方々に心よりお見舞申し上げます。

博物館も開館40周年を迎えました。友の会も様々な講座や見学会にでかけました。そして記念すべき今年は11月5日6日に「木喰のふるさと身延町」他へでかける予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

（編集委員　中村由紀子）